

第3学年社会科学学習指導案

指導者 教育センター所員 岩橋 孝也

本授業の概要

本時の授業は、スーパーマーケットの牛乳コーナーを取り上げ、どのようなことに気を付けて買い物をした方がいいのかについて考えさせます。その際、牛乳は「前から選ぶべきか」「後ろから選ぶべきか」について話し合わせることで、これまでの学習や経験を基にしながら、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けさせたり、より広い視野から考えをもつ大切さに気づかせたりしていきたいと思えます。

1 単元名 どこで買うの そのわけはなんだろう？（日文3・4年上）

2 単元とその指導について

- 本単元は、地域の販売に関する仕事に携わる人の工夫や他地域などのかかわりについて調べ、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることについて考えさせる。さらに、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けることを通して、地域社会の一員としての自覚を高め、消費者としてのこれからの在り方について、自分なりの考えをもるようにすることをねらいとしている。

私たちの身のまわりには、スーパーマーケットをはじめ、大型ショッピングセンター、コンビニエンスストアなどがあり、便利な生活を支えている。また、ディスカウントストアや地元の食品を売る店など特徴ある店も次々と作られている。しかし、これは主に住宅街や国道沿いの話であって、地元の商店街や昔からのスーパーマーケットなどは、客が減少したり、店を続けられなくなったりもしているという社会的な問題も起きている。校区内にあるスーパーマーケットも例外ではない。この店は、30年ほど前に作られ、これまで「地元の店」として地域の人々の生活を支えてきている。しかし、ここ数年、周辺地域に大型ショッピングセンターや24時間営業のスーパーマーケット、コンビニエンスストアなどが作られ、来店者が減る傾向にある。そんな中であって、客の願いを基に、生鮮食料品の「新鮮さ」「安さ」にこだわったり、売り出しの日の設定をしたりするなどの努力や工夫を行っている。

一方、消費者である私たちに目を向けると、買い物をする際に「安さ」「新鮮さ」「産地」などを意識はしている。しかし、物があふれる現代社会にあっては、これからさらに広い視野から消費行動を考えていく必要があると考えられている。

以上のことから、販売の仕事が私たちの生活を支えていることについて理解させるために、スーパーマーケットにかかわる人々の努力や工夫を通して、人々の思いについて共感的にとらえさせたり、これからの生活の在り方を考えさせたりすることは大変意義あることと考える。

- 本学級の児童にアンケートを取ったところ、36名中の32名の児童が「社会科が好き」と答え、理由は「町のことを知ることができるから」「話し合いが楽しいから」がほとんどであった。

1学期には、佐賀市の学習の中で、校区内の生涯学習センターについて調べ、「利用者の低下」という社会的な問題に対して、3年生なりに改善に向けたアイデアを出し合い、話し合う学習をしている。その際、資料を根拠に自分の考えを述べたり意見交換したりする経験をしており、複数の観点や立場から社会的事象を見ることの大切さに気付いている児童もいる。それに対して、「社会科がきらい」と答えた4名の児童の理由は、「話し合いが苦手だから」であった。そこで、3年生という発達の段階や話し合いの経験を考慮し、自信をもって自分の考えを述べるができるように、根拠となる言葉や資料を提示するなどの手立てが必要になってくる。

本単元で、特に取り上げるスーパーマーケットは、地元の店ということもあり、全員が買い物をした経験があった。アンケートの「誰と行きましたか」という問いに対しては、「一人で」「友達と」と答えた児童が多かった。また、「お客さんのためにどんな工夫をしていると思いますか」という問いに対しては、これまでの買い物経験から「新鮮」（8名）、「栄養」（2名）、「品揃え」（5名）、「値段」（1名）について答えるなど、スーパーマーケットの工夫に気付いている児童が半数もいた。

- 本講座のテーマは、「活用する力を育てる授業づくり」である。新学習指導要領では、「小学校社会科においては、(中略)社会的な見方や考え方を養い、そこで身に付けた知識、概念や技能などを活用し、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視する」としている。そこで、本単元においては、日常の買い物経験やスーパーマーケットの見学調査などによって獲得した知識や技能を基にして、販売の仕事について見直したりこれからの消費者としての在り方を考えたりすることを「活用する力」と捉えていきたい。

以上のことから、指導にあたっては学習問題を2つ設定することとする。学習問題1、「どうして、スーパーマーケットで買い物をする人が多いのだろう」においては、スーパーマーケットで働く人々の努力や工夫を調べ、それを消費者とのかかわりの中で捉え直しをさせ、学習問題2「買い物をする側として、これから気を付けることを考えよう」へとつなげていきたい。

そこで、まず、事前に「1週間の買い物調べ」を行わせ、その結果やこれまでの経験を基に、感想を出し合ったり疑問をもたせたりすることで、スーパーマーケットへの関心や学習への意欲を高めていきたい。

次に、スーパーマーケットにお客さんがくる理由を予想させ、「売り場」「お店の外」「品物」「働く人」にグループ分けをし、見学調査に行く。その際、「販売者」と「消費者」の関係を意識させるためにも、店長さんからお客さんのために努力や工夫していることだけでなく、悩んでいること、仕事への思いなどについても話をしてもらうようにする。

そして、グループで調べたことを共有したり意見交換を行ったりする中で、「新鮮さ」「産地」「値段」などの観点到に気付かせ、スーパーマーケットの努力や工夫としてまとめさせていきたい。特に、本時においては、「牛乳コーナー」を取り上げ、これまで学んだことを基にしなげながら、「店としての利益」や「環境」「家庭生活」などにも目を向けさせる。このように、販売者の側の工夫と消費者の側の工夫とを関連付けさせることによって、社会的な事象をより広い視野からとらえさせるだけではなく、これからの「消費者」としての在り方を見直すきっかけにもしたい。

最後に、これからの「消費者」としての在り方を考えたり、見学に行ったスーパーマーケットにお礼の手紙を書いたりすることで、日常生活へとつなげていきたい。

3 単元の目標と評価規準

○指導目標

販売の仕事に携わる人々の仕事の内容や思いについて考えさせることを通して、販売の仕事が自分たちの暮らしを支えていることを理解させ、現在の生活を見直したりこれからどうすべきか考えたりすることができるようにさせる。

○指導目標の達成状況を観る評価規準

- ・スーパーマーケットの仕事について関心をもち、学習課題を設定し、仕事内容だけでなく努力や工夫などについても進んで調べようとする。(社会的な事象への関心・意欲・態度)
- ・スーパーマーケットの仕事の努力や工夫の理由を考えたり、これからの消費者としての在り方について自分の考えをもったりすることができる。(社会的な思考・判断)
- ・スーパーマーケットにお客さんが来る理由や消費者としての在り方について、自分の課題に沿って、資料を収集したりまとめたりすることができる。(観察・資料活用の技能・表現)
- ・販売の仕事が地域の人々の生活を支えていることと、それらの仕事に従事する人の努力や工夫を理解している。(社会的な事象についての知識・理解)

4 指導計画・・・(全10時間)

| 過程 | 時配 | 主な学習活動(○) | 指導上の留意点と 教師の働きかけ(○) | 評価規準 | | | |
|-----|----|-------------------------------|---|------|----|----|----|
| | | | | 関心 | 思考 | 表現 | 理解 |
| つかむ | 1 | ○1週間の買い物調べの結果を基に、気づきや疑問を出し合う。 | ○買い物調べの結果を提示する際、食料品に着目させ、スーパーマーケットに目を向けさせる。 ○大型ショッピングセンターやコンビニエンスストアなどの特徴も考えさせ、比較しやすいようにする。 ○これまでの買い物の経験を想起させ | ○ | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|-------------|---|---|--|--|--|-----|
| | | | たり疑問を出し合ったりさせることで、学習問題1へとつなげる。 | | | | |
| | | 学習問題1 どうして、スーパーマーケットで買い物をする人が多いのだろう。 | | | | | |
| さ ぐ る | 2 | ○スーパーマーケットに買い物に行く理由を予想し、調べる計画を立てる。 | ○予想した理由についてグループ分けをさせ、「売り場」「お店の外」「品物」「働く人」などの視点をもせる。 ○見たいことや聞きたいことを決めさせ、調査活動への見通しをもたせる。 | | | | ○ |
| | 3 4 | ○スーパーマーケットの見学に行く。 | ○より詳しく調べることができるように、グループで役割を決め、調査活動を行わせる。 ○前時のワークシートを基に、個別の支援を行うようにする。 | | | | ○ ○ |
| 高 め る | 5 6 | ○見学して分かったことをグループでまとめる。 | ○調べてきたことを、見学の視点ごとに色分けした付せん紙に書かせる。 ○努力や工夫の理由ごとに貼り直し、まとまりごとにラベリングさせる。 | | | | ○ ○ |
| | 7 | ○スーパーマーケットで働く人々の努力や工夫について考える。 | ○似ているところや関係しているところがないのかという点で、意見交流を行う。 ○なぜ、そのような努力や工夫をしているのかまで考えさせ、消費者の存在を意識させるようにする。 | | | | ○ |
| ひ ら く | | 学習問題2 買い物をする側として、これから気を付けることを考えよう。 | | | | | |
| | 8 本 時 | ○牛乳の買い方について話し合う。 | ○牛乳コーナーの写真を提示し、様々な種類や量の商品があることを再確認せ、消費者の声に応えようとする店側の工夫に気付かせる。 ○「牛乳は後ろから」の文を紹介し、牛乳を買う際に、どちらから取るべきか話し合うことで、「店としての利益」や「環境」、「家庭生活」などの新たな観点にも気付かせる。 | | | | ○ |
| | 9 | ○家族へのインタビューを基に、これからの消費者としての在り方について話し合う。 | ○家族にインタビューしたことを発表し合い、それぞれの家庭の工夫に気付かせる。 ○これから買い物をするときに気を付けたいことについて話し合う。 | | | | ○ |
| | 10 | ○学習のまとめとして、スーパーマーケットにお礼の手紙を書く。 | ○学習を通して学んだことや消費者としてこれから気を付けようとすることを手紙にまとめさせる。 | | | | ○ |

5 本時の指導・・・本時8/10

(1) 本時の目標

牛乳を買う際の様々な観点を基に、これから牛乳を選ぶときに、自分なりに気を付けたいことを考えることができる。

(2) 本時の展開

| 学 習 活 動 | 教師の働きかけ（・）と形成的評価（◆） |
|--|---|
| <p>1 牛乳コーナーの工夫について発表する。</p> <p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな種類があるな。 ・大きさ（量）もいろいろあるな。 ・この牛乳は他のものより多くそろえてあるな。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">牛乳を買うときに、どんなことに気を付けて選んだらいいのか考えよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳コーナーの写真を提示し、気付いたことを自由に発表させる中で、様々な種類や量の商品があることに目を向けさせる。 ・様々な種類や量の商品が置いてある理由を予想させ、消費者の思いや願いに応えようとする店側の努力や工夫に気付かせる。 |
| <p>2 牛乳の選び方について発表する。</p> <p>(1) グループ交流</p>  <p>ぼくはメーカーで選ぶけど、それぞれの人や家庭によって、牛乳の選び方って違うんだな。</p> <p>(2) 全体交流</p>  <p>ぼくは後ろから選びます。だって、後ろの方が賞味期限が長いし、新しいいからです。</p>  <p>わたしは前から選んだ方が良いと思います。だって、賞味期限が過ぎると捨てることになってしまうからです。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を買う際に、どんなことに気を付けて選んだらいいのかについての自分なりの考えを持たせるために、これまでの学習や買い物経験を想起させる。 ・グループで意見交流をさせることで、「新鮮さ」「量」「メーカー」「値段」など様々な観点が、それぞれの人や家庭にこだわりがあることに気付かせる。 ・「牛乳は後ろから」という児童の意見と「牛乳は前から取る」という広告を比較させ、それぞれのよさを考える。 ・どちらの考えに賛成なのかを明らかにさせるために、ネームプレートを貼らせる。 ・「前から取るべき」「後ろから取るべき」の立場に分かれて話し合わせ、「店としての利益」や「環境」、「家庭生活」などの新たな観点にも気付かせる。 |
| <p>3 これからの牛乳の選び方を考える。</p> <p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、牛乳が捨てられないように、これからは家族の人数やどれくらいで飲み終わるかをえながら選ぶことにしよう。 ・これまで牛乳を選ぶときには何も考えていなかったけど、できるだけ佐賀県のものを選ぶようにしよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループや全体で話し合ったことを基に、これから牛乳を買うときに気を付けたいことを考える。 <p>◆これから牛乳を選ぶときに気を付けることを考えることができたか。（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎牛乳を選ぶ際の考えを付け加えたり見直したりし、理由まで書くことができています。 ○牛乳を選ぶ際の考えを付け加えたり見直したりしている。 →その理由までを書かせるようにする。 △はじめに書いたことをそのまま書いている。 →もう1つ気を付けるならと問いかける。 |
| <p>4 次時からの学習の見通しをもつ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を振り返り、他の商品についても考え、これからの消費者としての在り方を考えることを確認する。 |

3年社会科ワークシート

名前()

【今日のめあて】

牛乳を買うときに、どんなことに気をつけて選んだらいいのか考えよう。

- 1 牛乳を選ぶときに、「気をつけていること」や「気をつけた方がいいと思うこと」を書きましょう。



- 2 それぞれのよさを考えよう。

| 牛乳は | 牛乳は |
|-----|-----|
| | |

- 3 グループや全体で話し合ったことを思い出しながら、これから牛乳を選ぶときに気をつけたいことを書きましょう。

